

## 古墳で演劇やりました！

10月21日に開催された「第11回野毛古墳まつり」の屋外ステージにて、のげ青に来ている若者たちが中心になって結成された劇団「野毛青少年交流劇団 若者と古墳」が、演劇の公演をさせていただきました。

野毛古墳まつりが第11回ということにちなんで、11名の団員が、自作したオリジナルソングを歌ったりしつつ、「松坂桃李」「三井のリパーク」「さなぎ」「若者と古墳」というタイトルの4作品を上演しました。公演当日は多摩川の土手から富士山が見えるほどの快晴で、絶好の「古墳で演劇」日和。人生で初めて舞台に立つ若者と、何年かぶりに舞台に立つ若者とが入り混じり、緊張感と期待感と達成感があふれる旗揚げ公演となりました。公演後は、等々力駅近くのカフェでカレーを食べながら和やかに打ち上げ。団員同士が、率直な感想を思い思いに語り合う姿が見られました。

公演の2週間前までずっと出演するかどうか悩んでいた若者は、打ち上げで「実は、(公演本番の)今日も、朝起きて、行こうかどうか、迷ってたんです」と打ち明けてくれました。そんな彼の背中を押してくれたのが、同じく、今回が人生初舞台だった他の若者の存在でした。

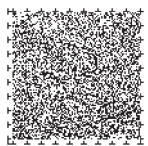
「一人だったら怖くてできなかったけど、自分と同じ立場、初舞台の彼がいたから、自分もやってみようかと思えたんです」「仲間がいるから頑張れる。」言葉にすると、嘘くさくて、恥ずかしくて、きれいごと聞こえますが、現実世界で日々直面する問題に立ち向かう時、その背中をそっと押してくれるのは、

応援してくれる大人がまわりにいることはもちろんですが、こうした『一人じゃない』という感覚なのかもしれません。

次回公演は未定ですが「年明けの3月までに第2回公演をやりたいね」という声があがっています。お楽しみに。

人前で演じるって楽しい、そう思えたからこそ飽き性の僕でも続けることができた。初めましての人が多かったけど練習を通じて仲良くなって、みんなで共同作品を作っていく過程にワクワクした。

人生で初めて「安室ちゃんになる!」と叫びました。キャベツを丸かじりしたのもいい思い出です。のげ青に来て1ヶ月半だけど、良い仲間恵まれて演劇に来るのが毎回楽しみでした。これからもこの繋がりを続けていきたいです。



## のげ青と地域連携

夏から秋にかけて開催されたたくさんの地域行事に、のげ青も利用者の子ども・若者と一緒に参加させていただきました。ここではそんな地域行事に参加した近況をご紹介します！



### 野毛古墳まつり

今年で4度目の参加になった古墳まつり。のげ青からは、演劇公演とカフェ出店で参加しました。のげ青フェスティバルで好評だったカクテルジュースをシェイクし続けた若者は、古墳にちなんだカクテルジュースを！「スイーツづくりといえばこの人！」という若者からは、できたてスコーンとカボスケーキが考案されました。当日は晴天に恵まれ、どのメニューも大好評。小学生～大人までさまざまなメンバーがブースを切り盛りしました。



### ご近所出合いのマルシェ

今年で2回目の参加となる「上野毛地区ご近所見守りネットワーク世話人会」が主催するマルシェに参加しました。今回は、のげ青縁日でも大好評だった「水中コイン落としゲーム」をやりました。「誰でも楽しめますね」「意外と難しい！」等、小さな子どもたちからご年配の方まで多くの人にゲームを楽しんで頂くことができました。ゲームの景品として差し上げていた、のげ青畑で採れた野菜も喜んでいただくことができました。



### Lights in Farm

毎年、近所の木村ぶどう園で開催される、早稲田大学卯月ゼミナール主催の「Lights in Farm」に今年も参加しました。のげ青の参加は今年で2回目となり、昨年よりもバージョンアップした企画を目指して子ども・若者たちと取り組みました。その名も「キラリと光るものがある！」のげ青 MY ランプ & おもてなしカウンター」。ランプは一人ひとりテーマがあり、おもてなしカウンターは、普段ののげ青の日常を感じていただける出店になりました。「面白かった！」と言ってもらい、Lights in Farm 賞をいただきました。



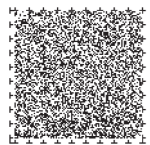
### おどろき等々力祭り

等々力商店街振興組合が主催するおどろき等々力祭りに、焼き鳥や焼きそばの出店手伝いとして若者たちとともに参加しました。今年で4回目の参加ということもあり、出店でお世話になる商店街の方々と一緒に楽しむことができ、また毎年応援に来てくださる地域の方々にも「頑張ってるね！」と声をかけていただいたりと、地域とのつながりを感じる1日となりました。



### 六所神社例大祭

晴天に恵まれた9/23。今年は大人神輿と子ども神輿が同日開催ということもあって、とても賑やかな一日となりました。のげ青からは若者が神輿の休憩所で給仕のお手伝いに参加しました。また、普段ののげ青を利用している小学生たちが一生懸命神輿を担いでいる姿も見ることができ、新鮮でした。最後の大人神輿が神社の境内に戻ってきた時の迫力は圧巻でした。来年は50周年という記念すべき年とのことで、のげ青も一緒になって盛り上げていきたいと思えます！

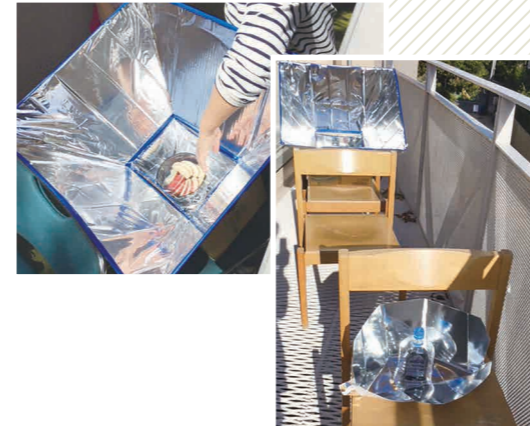


## ふらっとカレッジ 活動報告

のげ青では、未来をつくる若者が、つながり、学び、考え、発信する拠点「フューチャーハブ」を会場に、一般の方々にもご参加いただける講座「ふらっとカレッジ」を開催しています。ここでは近況報告としていくつかのプログラムを紹介します！

### 哲学談話 ～専門家呼んで話をしてみよう！～

のげ青では、若者たち発信の企画として、普段話さないような哲学的なことを思いっきり話し合ってみようという「哲学カフェ」を開催してきました。今回は、この取り組みを拡大して、ふらっとカレッジとして立正大学文学部哲学科講師の木村文人先生に監修をしていただき、地域の方にもひらいた企画にしました。題して「哲学談話」。10月13日、地域の方も交えた7名での開催となりました。参加者の「生きるとはどういう常態か」という問いを発端に、「生きる」というテーマを巡って参加者それぞれが意見を表明し、皆で議論していきました。意見や捉え方は違っても通じ合える部分は想像以上に多く、参加したそれぞれに語り合い、意見を交わせたという手応えのあるイベントになりました。



※太陽光を反射する素材を使用して作った調理箱

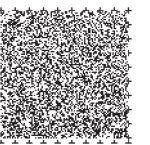
### ソーラークッキング入門 ～太陽のエネルギーを活用してみよう！～

太陽熱を使って調理をする！そんな実験を10月27日に行いました。まずは、講師のパーマカルチャー実践コーディネーター中野香織さんお手製のクッカー※に、薄く切ったりんごをセット。ソーラーパネルについてのミニ講座を受け、色々試したくなるところで作業開始。太陽の動きに合わせてつ、参加者同士で手分けをしてダンボール廃材や100円均一で購入できる台所用品を使用し、試行錯誤しながら3種類のソーラークッカーを作りました。あいにく小雨が降ったり曇ったりと天気がすぐれませんでした。それでも時折出てくる太陽の熱で4時間ほどかけじっくり温められたりんごはアップルパイのような美味しさに変化していて、参加者一同で感動を味わいました。

## NOGESEI TOPIC

### カレー曜日の活動報告 ～40種類のカレーを作りました～

今年の3月から始まったカレー曜日プロジェクト。毎週火曜日、みんなでカレーを作って食べてきました。週に1回実施し、月に4回。3月から12月まで、10か月で計40回。40種類のカレーを作ってきた計算になります。今、一番力を入れて開発しているのは『古墳カレー』です。野毛の町の歴史的遺産、野毛大塚古墳をイメージした古墳カレーの開発に、カレー曜日メンバーは試作を重ねながら取り組んでいます。来年2月、のげ青フェスティバルにて皆さんに披露できると思います。お楽しみに。



■月一会議掲示板設置について

別館2階の和室スペースに、月一会議の掲示板を設置しました。現在進行しているプロジェクトの様子を写真や参加者のコメントで、皆様にお伝えします。別館を訪れた際には是非ご覧ください。

■音楽コーナーの紹介

別館フューチャーハブにヘッドホンで音楽を聞けるコーナーを設けました。まだ知らない音楽と出会ったり、誰かと音楽をおすすめしあったり、シェアしあえるコーナーになるよう企画中です！ぜひお立ち寄りください。

■デザイン講座『デザタネ』について

別館フューチャーハブにて初心者向けデザイン講座『デザタネ』を開催します。デザインやものづくりに興味のある若者はのげ青スタッフまでお問い合わせください。  
 次の開催日時：2019年1月中旬を予定

■のげ青フェスティバル開催決定！

年に一度のイベント、「のげ青フェスティバル」。来年の2/17（日）に開催が決定しました！より多くの若者に、そして地域の方々に「のげ青」のことを知っていただきたいです！詳細は追ってお知らせいたします。

■地域懇談会

地域関係者の皆様へ日ごろの感謝をお伝えし、相互の親睦を深める機会として、地域懇談会を開催いたします。  
 日時：2019年2月24日（日）

■調理プログラムのご案内

本館2階の厨房スペースにて毎週火曜の午後に調理プログラムを実施しています。地域の方々にも気軽に楽しめる企画となっていますのでぜひお気軽にご参加ください。

のげ青  
庭部

秋編

色々な植物の栽培に挑戦している「庭部」の今年の秋は、稲と安納芋の収穫がメインイベントと言えるでしょう。ボランティアスタッフからバケツ稲をいただき、6月から栽培スタート。時々湧くボウフラを見つけては水を入れ替え、本当に稲ができるか不安になりつつじっと観察。稲穂ができると参加者一同から歓喜の声と笑顔があふれました。ご近所の方からいただいた安納芋のつるは、なかなか実が大きくなりず。栽培方法を何回も確認しながら日々観察を続けました。10月に入り、芋の形が確認できたときの感動はひとしおでした。



バンバリー市小学生親善訪問団×のげ青

今年で3年目になるオーストラリアバンバリー市（姉妹都市）からの小学生親善訪問団ののげ青宿泊。スケジュールがびっしり入っていたものの、早くセンターに帰って来た日は、夕方からセンター利用者たちとの交流が生まれました。普段センターで開催しているカレー曜日に参加したり、卓球やバドミントンを中学生と一緒にしたり、絵と一緒に描いたりetc. あそびを通じて、自然と輪ができていきました。センターに来る子どもや若者たち同様、バンバリー市から来た子どもたちも楽しい一時となりました。



のげ青の人々  
Q&A

ゆき  
加藤 由紀さん  
ユースワーカー

Q のげ青で呼ばれたい名前？

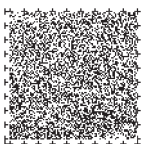
A 「加藤さん」でも「かとちゃん」でも「ゆきちゃん」でも！呼びたい名前でお呼びください。

Q あなたの大切なもの、こだわっているものは？

A 食べること！ 失敗も多いけどご飯をつくるのも好きです。

Q 一言メッセージをどうぞ。

A いろいろなきっかけで、みんなののげ青に来ていると思います。せっかく出会ったので、ここでしか作れない思い出を一緒に作っていただけると嬉しいです。



世田谷区立  
野毛青少年交流センター

〒158-0092 東京都世田谷区野毛 2-15-19

☎ 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739

✉ nogesei@npobunka.net @nogesei\_youth

🌐 https://www.facebook.com/nogesei0510

のげ青でのさまざまな活動はフェイスブックページにて公開しています！ぜひご覧ください！



のげ青 検索